

大分県農業非常事態対策会議次第

日時 令和3年3月15日（月）15：30～16：30

場所 全国農業協同組合連合会大分県本部別館301会議室

- 1 開会
- 2 大分県農林水産部長あいさつ
- 3 大分県農業の現状について（説明：大分県）
- 4 今後の取組の方向性について（各団体）
- 5 農業非常事態宣言について（説明：大分県）
- 6 閉会

大分県農業非常事態対策会議出席者名簿【実績】

日時 令和3年3月15日（月）15：30～16：30
 場所 全国農業協同組合連合会大分県本部別館301会議室

組織名	役職名	氏名
大分県農業協同組合中央会	代表理事会長	壁村 雄吉
全国農業協同組合連合会大分県本部	県本部長	藤田 明弘
大分県農業協同組合	代表理事理事長	平間 悟
べっぷ日出農業協同組合	(代表理事組合長)	(佐藤 隆博)
代理出席	代表理事 副組合長	村井 栄一
玖珠九重農業協同組合	代表理事組合長	佐藤 昌弘
九重町飯田農業協同組合	代表理事組合長	時松 信康
大分大山町農業協同組合	代表理事組合長	矢羽田 正豪
下郷農業協同組合	(代表理事組合長)	(矢崎 和廣)
代理出席	参事	藤田 誠二郎
大分県酪農業協同組合	代表理事組合長	清末 健一
公益社団法人大分県畜産協会	会長	近藤 和義
大分県	農林水産部長	大友 進一

※代理出席の場合があります。

大分県の令和元年 農業産出額について (令和3年3月12日 農林水産省公表)

区 分	産出額		対前年比較	
	令和元年	平成30年	増減額	比 率
農業産出額計	億円 1,195	億円 1,259	億円 △ 64	% 94.9
耕 種 計	741	794	△ 53	93.3
① 米	210	248	△ 38	84.7
② 麦類・豆類	8	6	2	133.3
園芸	493	510	△ 17	96.7
③ いも類	18	17	1	105.9
④ 野菜	309	328	△ 19	94.2
⑤ 果実	119	116	3	102.6
⑥ 花き	47	49	△ 2	95.9
⑦ 工芸農作物	23	21	2	109.5
⑧ その他種苗等	9	9	0	100.0
畜 産 計	444	454	△ 10	97.8
⑨ 肉用牛	152	157	△ 5	96.8
⑩ 乳用牛	88	88	0	100.0
⑪ 豚	83	85	△ 2	97.6
⑫ 鶏	120	121	△ 1	99.2
⑬ その他畜産物	2	3	△ 1	66.7
⑭ 加工農産物	9	11	△ 2	81.8

※四捨五入等のため計は一致しない。

【増減要因】

- ・ コメ：夏場の日照不足やヒバウカによる病害虫被害等で収量が大きく低下(作況指数85)。
 - ▶ コメ ③0248 → ①210億円(△38) 生産量 ③104 → ①90千t(△14)
- ・ 園芸：ねぎ類やトマトで水田畑地化や新規就農により、面積・生産量ともに拡大したものの、冬場の温暖な天候等も相まって生産量が増加したことにより価格が低下した。
 - ▶ ねぎ類 ③60 → ①57億円(△3) 作付面積③ 927 → ①963ha (+36)
生産量③15,430 → ①15,979t (+549)
単 価③ 389 → ①357円/kg(△32)
 - ▶ トマト ③34 → ①31億円(△3) 作付面積③ 180 → ①191ha (+11)
生産量③10,200 → ①11,100t (+900)
単 価③ 333 → ①279円/kg(△54)
- ・ 畜産：肉用牛では、肥育牛の増頭が進んでいるが、生産量の増加や消費税増税による消費者の節約志向等により価格が低下した。
 - ▶ 肉用牛 ③157 → ①152億円(△5) 肥育牛頭数 +1,400頭(+11%)
枝肉価格 △168円/kg(△7%)
- ・ 九州順位： ①鹿児島、②宮崎、③熊本、④福岡、⑤長崎、⑥大分、⑦佐賀
4,890 3,396 3,364 2,027 1,513 1,195 1,135

農業産出額【九州各県比較】 R3.3.12

(単位：億円)

	令和元年	平成30年	対前年 増減額	対前年 増減率 (%)
全 国	89,387	91,283	△ 1,896	△ 2.1
九 州	17,520	17,856	△ 336	△ 1.9
大分県	1,195 ^⑥ (25)	1,259 ^⑦ (25)	△ 64	△ 5.1
福岡県	2,027 ^④ (16)	2,124 ^④ (15)	△ 97	△ 4.6
佐賀県	1,135 ^⑦ (27)	1,277 ^⑥ (24)	△ 142	△ 11.1
長崎県	1,513 ^⑤ (21)	1,499 ^⑤ (22)	14	0.9
熊本県	3,364 ^③ (6)	3,406 ^③ (6)	△ 42	△ 1.2
宮崎県	3,396 ^② (5)	3,429 ^② (5)	△ 33	△ 1.0
鹿児島県	4,890 ^① (2)	4,863 ^① (2)	27	0.6

※上段○数字：九州順位、下段()数字：全国順位

2020年農林業センサス結果の概要(概数値)について

1. 経営体数等

- 農業経営体が24.9%減少、林業経営体が58.7%減少
- 基幹的農業従事者が29.1%減少、高齢化率(65歳以上)及び平均年齢が増加
- 経営体の減少や従事者の高齢化は、全国的な課題

【表1】

	単位	H27	R2	増減	(増減率)	全国増減率
農林業経営体	経営体	26,166	19,631	△ 6,535	(△ 25.0%)	△ 22.2%
うち農業経営体	〃	25,416	19,096	△ 6,320	(△ 24.9%)	△ 21.9%
うち林業経営体	〃	3,221	1,329	△ 1,892	(△ 58.7%)	△ 61.2%
基幹的農業従事者	人	30,503	21,496	△ 9,007	(△ 29.5%)	△ 22.5%
高齢化率	%	72.8	77.3	+4.5ポイント	(-)	-
平均年齢	歳	69	70	+1.0	(+ 1.4%)	+1.5%
<九州各県の平均年齢>		福岡 67 佐賀 66 長崎 65				
		熊本 65 宮崎 66 鹿児島 67 <九州 66 全国 68>				

※農林業経営体数は、農業と林業を合わせて営む経営体があるため、合計数は一致しない。

2. 農業経営体の経営規模

- 経営規模は10ha未満の経営体が減少する一方、10ha以上が増加
- 高齢の零細農家の廃業に加え、これまで実施してきた集落営農組織の法人化や企業参入の推進、農地集積による規模拡大が進展

【表2】

	単位	H27	R2	増減	(増減率)	全国増減率
10ha未満	経営体	25,066	18,675	△ 6,391	(△ 25.5%)	△ 22.9%
10ha～30ha	経営体	314	356	+ 42	(+ 13.4%)	2.6%
30ha以上	経営体	36	65	+ 29	(+ 80.6%)	9.0%

3. 農業経営体の販売金額

- 販売金額は3,000万円未満の経営体が減少する一方、3,000万円以上が増加
- 経営規模の拡大で販売金額が大きな経営体が増加

【表3】

	単位	H27	R2	増減	(増減率)	全国増減率
100万円未満	経営体	17,818	12,470	△ 5,348	(△ 30.0%)	△ 31.1%
100～1,000万円	経営体	6,265	5,278	△ 987	(△ 15.8%)	△ 11.5%
1,000～3,000万円	経営体	959	944	△ 15	(△ 1.6%)	△ 4.6%
3,000～5,000万円	経営体	158	180	+ 22	(+ 13.9%)	9.5%
5,000万円以上	経営体	216	224	+ 8	(+ 3.7%)	23.0%

4. 販売金額1,000万円以上の農業経営体数 [九州各県比較]

○九州各県が減少傾向の中、大分県は+1.1%の微増

○農業経営体の内、販売金額1,000万円以上の経営体数は1,348経営体、経営体に占める割合は7.1%で、経営体数と割合ともに九州で最も低い

【表4】

	単位	H27	R2	増減 (増減率)	経営体に占める割合	
					H27	R2
福岡	経営体	3,935	3,851	△ 84 (△ 2.1%)	10.9%	13.5%
佐賀	経営体	2,540	2,363	△ 177 (△ 7.0%)	14.9%	16.5%
長崎	経営体	2,303	2,476	+ 173 (+ 7.5%)	10.5%	13.8%
熊本	経営体	6,769	6,537	△ 232 (△ 3.4%)	16.3%	19.3%
大分	経営体	1,333	1,348	+ 15 (+ 1.1%)	5.2%	7.1%
宮崎	経営体	4,800	4,628	△ 172 (△ 3.6%)	18.2%	21.9%
鹿児島	経営体	4,262	4,232	△ 30 (△ 0.7%)	10.9%	14.3%
九州平均	経営体	3,706	3,634	△ 72 (△ 2.0%)	12.5%	15.5%

<参考> 販売金額1,000万円以上の農業経営体数が少ない要因

○中山間地率が69.6%で九州で最も高いなどの地勢的要因に加え、1経営体あたりの経営面積が1.68haで九州で2番目に小さいこと、作付延べ面積あたりの水稻作付率が41.2%で九州で最も高いことなどが要因

○引き続き、水田畑地化による園芸品目の生産拡大、担い手への農地集積・集約化等を重点に取り組む

【表5】

	中山間地率 【H27センサス】	1経営体あたりの 経営耕地面積 【R2センサス】	作付延べ面積あたりの 水稻作付率 【H30統計】
福岡	20.4 %	2.25 ha	38.3 %
佐賀	28.5 %	3.01 ha	35.6 %
長崎	40.2 %	1.53 ha	25.3 %
熊本	37.8 %	2.31 ha	31.2 %
大分	69.6 %	1.68 ha	41.2 %
宮崎	59.0 %	2.06 ha	22.9 %
鹿児島	53.7 %	2.44 ha	17.7 %
九州平均	42.7 %	2.19 ha	29.6 %